

趣味

田原 智延

小さな魚を釣ることと将棋観戦、親を連れての道の駅巡りが私の年間を通しての趣味です。スポットで4月中旬以降はわらび採り、夏の海水浴と、この体型には似合わない益田でも有数のアウトドア派(?)ですが、最近月刊致知を通し、鎌倉円覚寺管長 横田南嶺氏のコーナーの「禅語に学ぶ」を読み、特に腰骨を立てることが全てにおいて大切だということでしたので、その実践を通し仕事に役立てることができればと思っております。



私のつぶやき

明るく楽しく

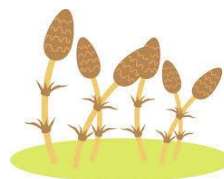
濱崎 俊明

入社して25年目になりました。30歳で入社していますので今は...歳。当時の写真を見ますと知らず知らずに年齢を感じる体型になってきています。以前と大きく変わったところは、体力が日増しに落ちてきていること。年だからということもありますが、やはり気の持ちようもあるのかもしれません。同級生とあった時など「みんな年を取ったなあ」と思うのですが、反面自分もそのように見られているのだろうと感じます。誰しも年を重ねていくものですので、これからもいつも前向きに明るく元気で楽しくそして適度な運動(私はテニスをしています。)を継続していくことが健康の源だと思っています。これからも皆さま、よろしくお願いいたします！



4～6月の税務・お知らせ

- ・固定資産税・自動車税の納付
- ・労働保険の申告・納付



お休みカレンダー

2017年 4月							2017年 5月							2017年 6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23 30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

わたしたちは、たくさんの“ありがとう”を集め、日本の中小企業を元気にします
※ 過去のニュースレター「かけはし」は、弊社ホームページからご覧頂けます。

かけはし

Vol. 32

春号

2017年4月



撮影：益田市内



春の花たちも顔を
見せ始めました(^O^)

事務所前のしだれ
桜です！3月30日に
撮影しました(^_^)v



ビジネスプラン / あんの会計

〒698-0041 島根県益田市高津一丁目1番1号
TEL(0856)23-6116 FAX(0856)23-6674
E-mail bplan@sx.miracle.ne.jp
HP <http://annokaikei.com>



代表取締役
安野 広明

こんにちは、安野広明です。いつもニュースレター「かけはし」をお読み下さり、ありがとうございます。
いよいよ春がやって来ましたね。多くの会社が新年度を迎える時期です。弊社は9月決算ではありますが、それでも4月というのは、ひとつの「節目」、「新たなスタート」という感じがして、ワクワクします。
また、「春は出会いの季節」とよく言われますが、実は弊社でも、4月から新しいメンバーが入社しました。これからも社員一丸となって、お客様や地域を元気にできるように精進して参りますので、引き続き、どうぞよろしくお願い致します！

「業務効率化の要諦は、“初動スピード”にあった！？」



学生時代、勉強しようと自宅の机に向かったものの、「集中するためにも、まずは机の上を片付けよう」とか「気合を入れるために、夜食で腹ごしらえしよう」とかなんとか言って、なかなか勉強には手を付けず、結局、引き出しの中まで整理を始めたり、お腹が膨れて眠くなったりで、ほとんど勉強がはかどらなかった…なんて経験があるのは、私だけではないはず（たぶん 汗）。

このように、重要だけでもやりたくない（＝頭を使わなければならない）タスク（＝上記でいえば「勉強」）がある時、人は、あまり頭を使わない単純なタスク（＝上記でいう「机の整理」など）をすることで、ストレスから逃れようという心理が働きます。

言い換えれば、「机を片付けている間は、勉強しなくていいだろう」という心理状態になっている訳です。

これは例えば、仕事に取り掛かる際、本来やるべき内容とは別のことをやり始めるなんていうのも同じ。その本質は、頭を使うことを避け、あまり頭を使わないことをして時間を埋めているのと変わりません。

そして、もしもそのような行動が社内で常態化しているとすれば、いくらIT等の活用によって社内業務の効率化を試みたところで、浮いた時間を「たいして重要ではないこと」に充ててしまい、なかなかその成果は得られない気がします。

この問題を解決するには、とにかく（本質的なタスクに対しての）初動（＝動き出し）スピードを意識するしかありません。
実際、優秀なビジネスパーソンは、例外なく、さっさと（本質的な）仕事に取り掛かる習慣を持っているものです。

また、1人1人が初動を意識すると同時に、仕事に集中できる環境づくりも不可欠だと考えています。一例を挙げると、

- ▼ 机の上に仕事と関係の無いものを置かない
- ▼ 「やることリスト」を作っておく
- ▼ スマホを目に付くところに置かない（業務と関係のないLINEなどにいちいち反応しないため）
- ▼ スマホは着信以外、音が鳴らない設定にしておく（同上）などなど。

私自身、まだまだ改善の余地がありますが、日常の中で、こういった環境づくりの工夫・改善を繰り返すと同時に、できるだけ初動スピードを高めることによって、業務効率化が図れるのではないのでしょうか。

コメディ・クラウン・サーカス

平成29年1月4日（水）に、『コメディ・クラウン・サーカス』を開催致しました。沢山の方にお越しいただきまして、本当に有難うございます！

今回は2部制という事で、席が埋まるか若干の不安もありましたが、蓋を開けてみると、1、2部共にほぼ満席で開演する事が出来ました。そして前回同様、開場時間より前に沢山の方が並んで下さり、スタッフの方も始まる前からどきどき（笑）

終演後は、クラウンと一緒に写真を撮る子ども達でロビーが溢れかえっていました！
小さいお子さんから、ご年配の方まで幅広い層の方が来て下さり、大変嬉しかったです。
前回からのリピーターもいらっしゃいました！
また、観客を巻き込んだのステージも多く、皆さんも一段と楽しめたのではないのでしょうか？
今回も無事開催する事が出来、感謝しております！有難うございました！



今月の本の紹介



『人生を照らす禅の言葉』

著者：横田 南嶺

今回紹介させていただく書籍は、横田南嶺著「人生を照らす禅の言葉」です。毎月「月刊致知」を読ませていただく中で、刊の後半に横田南嶺氏の「禅語に学ぶ」というコーナーがあり、そのコーナーを毎月読む内に横田南嶺氏に興味を抱くようになり、昨年秋にこの著書が刊行させるとのことで購入して読ませて頂いた次第です。その巻頭で①腰骨を立てる②丹田に力を含める③長い息をすることの重要性が説かれ、短いページで一つ一つの逸話が分かり易く解説していただいております、屁理屈とか言いがかり的な禅に対する偏見が払拭されるきっかけとなればと思い紹介します。

田原 智延



「大事にしたいのは、“共に成長している”という感覚」



ひと口に「経営者」といっても、その道何十年のベテランなのか、起業したばかりの新人なのか、創業者なのか、後継社長なのかなど、ピンキリです。

ちなみに私(安野)の場合、現在、経営者になって7年目。就任した日をゼロ歳として人生に換算すると、7年(7歳)といえば小学校低学年に該当するでしょうか。

そのため、まだまだ経営者として未熟な点も多く、

「お客様や社員さんから学ばせていただいているな～」

と感じます。

本来、経営者であれば、お客様にはアドバイスし、社員には教育を施すというのが一般的な理解なのでしょう。

しかし、恥ずかしながら、いきなりそんな実力が身につくはずもなく、日々の経営に奮闘する中で経営者として成長させてもらっているのが現実です。

一人前になれるのは、20年(＝経営者として20歳)くらい経ってからかもしれません・・・(汗)。

そして、このように、本来、教える側、導く側の立場にいる人間が、教わる側から学び、共に成長していくという関係性は、「経営者」のみならず、「学校の先生」や「親」に置き換えても同じではないでしょうか。

相手が子供だからといって自分より下に見たり、一方的に教えてやるという態度をとったりするのではなく、子供から教えられることだってたくさんあるはず。

仮に子供が1歳であれば、親としても1年目の新人ですし、子供が10歳になったとしても、上記のように人生に換算すればまだまだ親として小学生レベルだからです。

教える側と教わる側が共に成長する。

教える立場にある人は、そういう感覚を持つことが大事だと考えています。

「“島根広告賞”を受賞しました！」



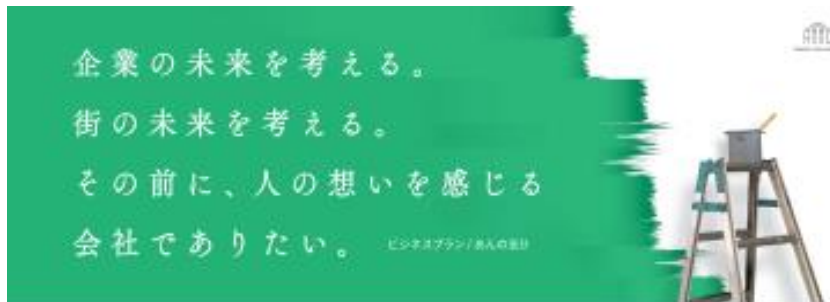
誠に手前味噌ではありますが、デザイン会社と一緒にコピーやデザインを考えながら製作した弊社の看板が、先日、「島根広告賞」のアーバンアド部門で「銅賞」を受賞しました。

今回お世話になったデザイン会社は過去にたくさん賞をとられていますが、看板で受賞したのは初めてだそうです。大変光栄に思います！

ちなみに、「企業の未来を考える。街の未来を考える。その前に、人の想いを感じる会社でありたい。」というコピーの中の、「人の想いを感じる」とは、言い換えると、「人の心に寄り添う」という意味になります。また、ペンキが塗りかけになったデザインには、「まだ塗られていない空白の未来を、お客様の心に寄り添いながら、われわれも一緒に埋めていく、そんな存在でありたい」という思いを込めたつもりです。

看板として掲げただけではなく、少しでもそこに近づけるよう、これからも社員一同、努力して参りたいと思います。

国道191号からばっちり見えますので、お近くをお通りの際には、ぜひご覧になってみて下さい！



<安野からのおすすめコーナー>

*このコーナーでは、私が独断と偏見により選んだ、おすすめの本や映画を紹介いたします。何かの参考にさせていただけると幸いです！

▶▶ 漫画「あしたのジョー」(梶原一騎 原作、ちばてつや 画)

1967年から1973年まで週刊少年マガジンに連載された、ボクシングをテーマにしたスポーツ漫画です。大学生時代に単行本を読んだのがきっかけで、ハマりました。公認会計士の受験時代、矢吹丈のように「真っ赤に燃え上がって、真っ白な灰になるまでやり切ろう」と意気込んでいたのを記憶しています。実際、合格後の打ち上げでは、飲み過ぎて真っ白な灰のような顔色をしていたそうです(記憶にありませんけど 汗)。..なにはともあれ、心に火がつく漫画です！

▶▶ ビジネス書「小さな会社の稼ぐ技術」(栢野克己 著、竹田陽一 監修)

中小零細企業専門コンサルタントとして、全国各地で延べ1400回以上講演されていらっしゃる人気講師が、「弱者の正しい勝ち方」について書いていらっしゃいます。大企業のような(市場における)強者と、中小零細企業のような弱者とでは、とるべき戦略がまったく異なることが、具体的な成功事例によって説明されており、とても参考になる一冊です。

ちなみに4月11日(火)には、著者の栢野克己先生を益田にお招きします。詳細は、同封のチラシをご覧ください。

▶▶ ビジネス書「良い値決め、悪い値決め」(田中靖浩 著)

コストから積み上げて値決めするコスト・プライシング(コスト+利益=売価)と、「顧客が払える額」から出発して、高い値決めを実現するバリュー・プライシング(売価-利益=コスト)との発想の違いは、目から鱗です。著者は、顧客満足を「低価格」で実現するのはもうやめて、顧客満足「高価格」を目指すことを提唱していらっしゃいます。値決めの参考になる一冊です。

▶▶ 映画「燃えよドラゴン」

1973年製作、ブルース・リー主演のカンフー映画です。なんといっても、ブルース・リーがカッコ良すぎます(笑)。名言、「Don't think, feel!」(=考えるな、感じろ!)は、禅問答が元になっていて、表面上の言葉や現象に囚われるのではなく、真実を見据えることの大切さを教えてくれます。それにしても、あんな肉体を手に入れたいものです..。

